

公開講演: 子どもとコンテンポラリーダンス

日時: 2018年10月22日(月) 10:40~12:10

会場: お茶の水女子大学 本館 306 教室 **聴講無料 (事前申し込み不要)**



講師プロフィール: 古家優里 FURUIE Yuuri (振付家・ダンサー)

熊本バレエ研究所で学ぶ。お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒業。大学の同級生と立ち上げたダンスグループ”プロジェクト大山”主宰。2009年横浜ダンスコレクション R にて「審査員賞」、2010年トヨタコレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」を受賞。

公演活動の他、長塚圭史演出『ガラスの動物園』(2012年)、ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出・ナイロン 100°C『デカメロン 21~或いは、男性の好きなスポーツ外伝~』(2013年)等、演劇作品の振付、NHK Eテレの人気子供番組『みいつけた!』では、楽曲(『じだいげきだよ、オフロスキー』『はじまりバーン!』)の振付の他、番組コーナー『よんだんす!』にてダツイーゴ役で出演中。現在4歳男児の子育て中。

最近では小学校アウトリーチに行くことが多いということなので、その時の話や、NHK E テレの子供番組の現場のお話を中心に、ご講演いただきます。「いっしょに番組コーナーやってみましょう!」みたいな事になるかもしれません。みなさんの質問もお受けします。

「作品を創る初期の状況を一口に言うと『ゼリー状』なんです。一回一回、公演ごとに何かをしっかりと積み重ねているのではなく、公演が終わるとゼロとは言わないまでも形のない、ペロっとしたゼリー状に一度戻り、そこからまた新しい創作の核となるものを探し、もう一度固形物になるまで分裂・増殖していくような。少し前の取材でも、創作の過程についての質問を受けて、“カビが生えるように創っている”とお答えしたんですが(笑)、どうしても生き物っぽい感覚で考えてしまうんですね、私は」

プロジェクト大山 HP 「Interview」(2013年6月6日)より引用
<http://www.projectohyama.net/interview.html>



*** LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席しレポートを提出することにより授業の出席として認められます。**

問い合わせ先: お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授

中村美奈子 nakamura.minako@ocha.ac.jp

